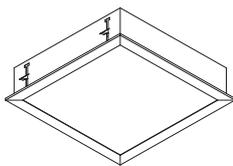


## 取扱説明書

住宅用照明器具 (埋込シーリングライト)

保管用

施工説明付き



品番 LGB3110LE1

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。  
この取扱説明書は大切に保管してください。  
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や  
損害の程度を区分して、説明しています。



#### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある  
内容」です。



#### 注意

「傷害を負うことや、財産の損害が  
発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図表示で  
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



#### 警告



必ず守る

● 異常を感じた場合、速やかに電源を切る  
異常状態が収まったことを確認し、販売店  
またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

● 器具を改造したり、部品交換をしない  
火災、感電、落下によるけがのおそれ  
があります。



#### 注意



必ず守る

● 照明器具には寿命があります。  
設置して10年経つと、外観に異常が  
なくても内部の劣化は進行しています  
点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けると  
まれに火災、感電、落下などに  
至る場合があります。

◎ 1年に1回は別紙「安全チェックシート」  
に基づき自主点検してください。

● 器具の取り外しは販売店、工事店に  
依頼する  
器具の取り外しには資格が必要です。



接触禁止

● 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺に  
さわらない

やけどの原因となることがあります。

◎ お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が  
冷めてから行ってください。

● 温度の高くなるものを器具の真下に  
置かない

火災の原因となることがあります。

◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。



禁止

● 点灯したLEDを長時間直視しない  
目の痛みの原因となることがあります。

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

## 施工説明

### 安全上のご注意

必ずお守りください

#### 警告

##### ■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・55度を超える傾斜した場所
- ・補強のない場所
- ・造営物、ダクトに接触する場所

◎この器具は天井埋込み専用です。

●特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しない

過熱して火災のおそれがあります。この器具は日本照明工業会・埋込み形照明器具SB・SGL・SG形適合品です。

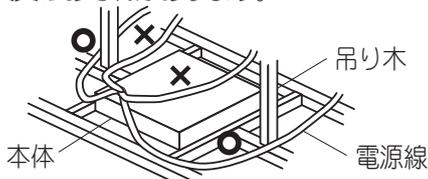


禁止



●電源線は本体上面に乗せたり、吊り木と本体の間を通さない

火災のおそれがあります。



##### ■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う  
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差込む

差込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●保護チューブを切断しない

火災、感電のおそれがあります。



必ず守る

##### ■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する  
火災のおそれがあります。



◎調光器の取り外しが必要です。  
(取り外しには、資格が必要です)

●器具を複数台つなげて使用する場合は、適合スイッチを使用する

火災のおそれがあります。

※適合スイッチ(別売：品番WT5001、WT5002、WT50519、WT50529)



必ず守る

#### 注意

●付属の梱包材は取り除いて使用する  
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●枠を確実に取り付け

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

●器具の取り付け取外しは  
手袋などの保護具を使用する  
けがのおそれがあります。

●取付金具を確実に引き下げる

取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

●補強材を確実に取り付け

取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

●周囲温度は、5~35℃で使用する

指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。



必ず守る



必ず守る



水ぬれ禁止



禁止

●ほこり防止シールを確実に貼り付ける

貼り付けが不完全な場合、断熱材、虫、ほこりが侵入し、火災、感電の原因となることがあります。

●電源ブッシングが穴から外れた場合は、はめなおす

ブッシングがはずれた状態では、断熱材、虫、ほこりが侵入し、火災、感電の原因となることがあります。

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。  
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●温度の高くなるものの上に取り付けない

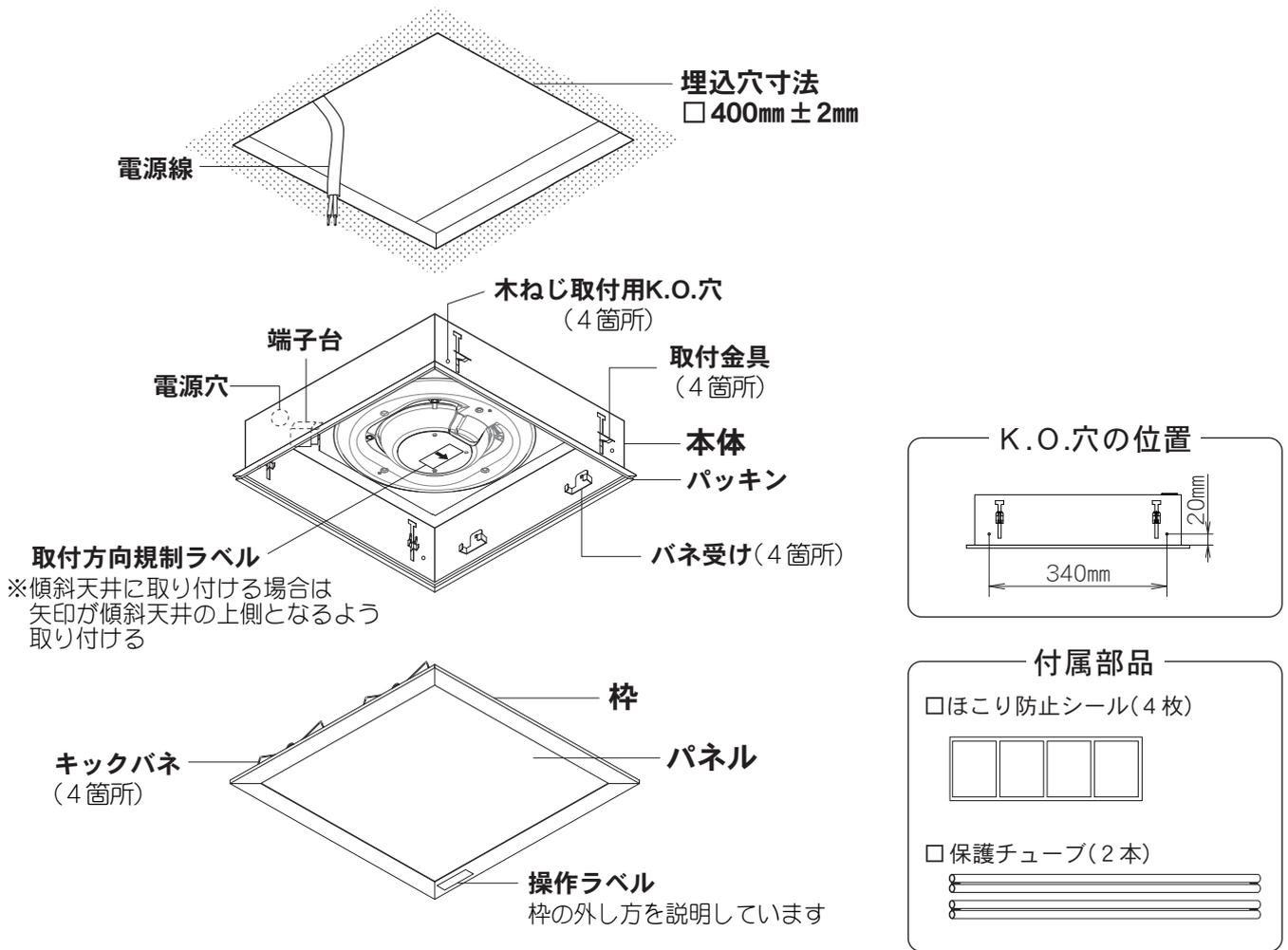
レンジ等温度の高くなるものの上に器具を取り付けしないでください。  
火災の原因となることがあります。

### 施工前のご確認事項

- 必ず壁スイッチを設けてください。点灯消灯させたり、お手入れの際に電源を切ることができます。
- 壁スイッチ1個当たり8台まででご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は、1回路につき3個まででご使用ください。  
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- 照明器具の送り総容量(照明器具専用)は4A以下です。ご使用されるスイッチなどにより総容量が制限される場合があります。スイッチなど、最大負荷および、接続可能台数をご確認いただき、その範囲内でご使用ください。

# 各部のなまえ

●器具を下図の状態にしてから、施工してください。



## 照明器具を取り付ける

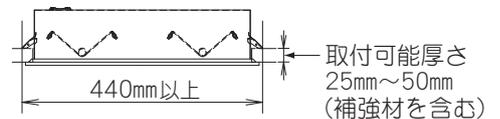
安全のため、電源を切ってから行ってください

### 取り付け前の準備

・器具の取り付けは、手袋などの保護具を使用してください。

#### ●取付金具で取り付ける場合

- ・取付可能厚さは25mm～50mm(補強材を含む)です。
- ・取付金具を開くため野縁と野縁の間に440mm以上の幅が必要です。野縁等が近接する場合は下記対策のいずれかを行い、幅を確保して下さい。
  - 方向を90°回転させる
  - 木ねじで取り付ける
  - 野縁を切断する



### 1 天井に□400mm ± 2mmの埋込穴をあける

#### ●天井の埋込穴の仕上げ

天井とパッキンに隙間が生じ、気密性が損なわれますので埋込穴の角を直角にしてください。

#### ●天井の表面に凹凸のある天井の場合

表面に凹凸のある天井の場合は、気密性が損なわれますので、表面を平らに仕上げてください。



## 取り付け前の準備

### 2 埋込穴を補強する

<取付金具で取り付ける場合>

- ・ロックウール等、柔らかい天井に取り付けると、枠と天井の間に隙間ができたり、天井破損の原因となります。
- ・補強材を含む、取付可能厚さは25mm～50mmです。
- ・補強がない場合は、天井が反り気密性が損なわれます。

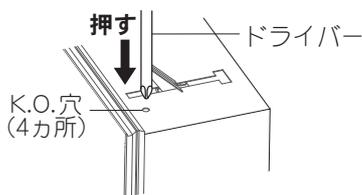
<木ねじで取り付ける場合>

天井厚が50mmより厚い場合または取付金具を開く寸法が確保できない場合は、 $\phi 3.8$ mmの木ねじ4本(別途ご準備ください)で取り付けてください。

※本体の木ねじ取付用K.O.穴を開けてください。

#### 木ねじ用K.O.穴の開け方

①ドライバー等を使用し穴を開ける。



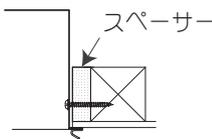
②穴を開けたあとの抜き片をニッパー等で切る。



**注意** 抜き片や穴の端部で手などを切らない様に気をつけてください。

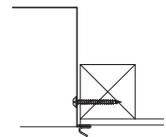
#### 野縁に木ねじで固定する場合

- ① 野縁と埋込穴の隙間をスペーサー(木材)で埋める。
  - ② 野縁に確実に固定される長さの木ねじ4本で取り付ける。
- ※ 木ねじは野縁に届く長さにしてください。



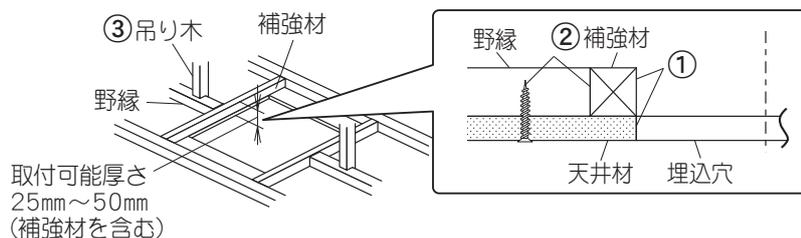
#### 補強材に木ねじで固定する場合

- ① 補強材を取り付ける。
- ② 補強材を木ねじ4本で確実に取り付ける。



<野縁を切断して取り付ける場合>

- ① 埋込穴周囲に接して補強材を天井材に固定する。
- ② 野縁の端部は補強材と接して野縁を木ねじで天井材に固定する。
- ③ 野縁を吊り木で固定する。



### 注意



#### 補強材を確実に取り付ける

取り付けが不完全な場合  
落下によるけがの原因となります。

必ず守る

### 警告

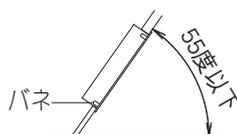


#### 55度を超える傾斜天井には 取り付けない

指定外取付は落下の原因となります。

必ず守る

#### 傾斜天井に取り付ける場合



取付方向に規制があります。  
3ページ「各部のなまえ」を  
参照ください

# 照明器具を取り付ける

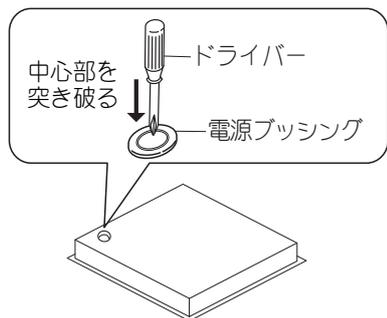
安全のため、電源を切ってから行ってください

## 取り付け方

※木ねじで取り付ける場合は、左頁の「取り付け前の準備」を参照ください。

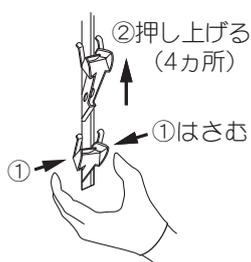
### 1 電源穴を開ける

本体天面の電源ブッシングをドライバー等で突き破る。

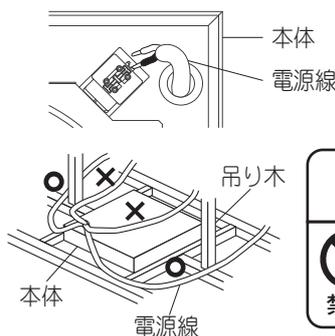


### 2 取付金具(4カ所)を押し上げる

取り付ける天井厚さに合わせて本体内面より取付金具を押し上げる。



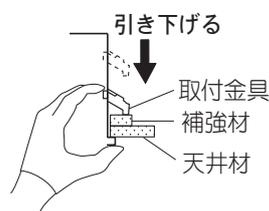
### 3 本体に電源線を引き込む



**警告**  
電源線は本体上面に乗せたり吊り木と本体の間を通さない  
禁止 火災のおそれがあります。

### 4 本体を取り付ける

本体を天井の埋込穴に挿入し、取付金具を引き下げる。

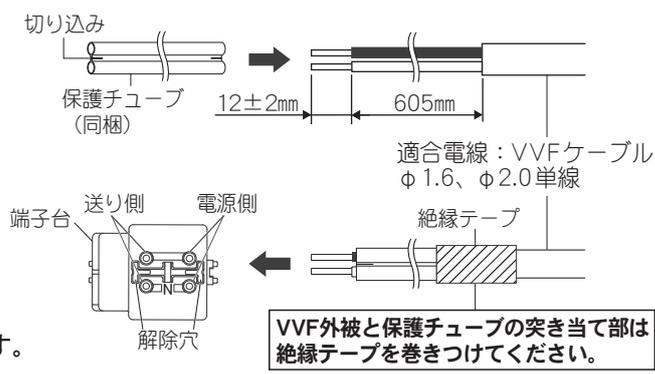


(注意)  
挟んで引き下げない  
枠と天井の間にスキマができます

**注意**  
取付金具を確実に引き下げる  
取り付けが不完全な場合、落下によるけが、又は枠と天井の間にすき間が出来る原因となります。

### 5 電源線に付属の保護チューブを取り付け、端子台に接続する

- ①電源線のVVF外被をむく。VVF外被のむき代は右図参照。
- ②保護チューブを電源線に差込む。  
保護チューブを取り付けないと火災、感電の原因となります。
- ③VVF外被と保護チューブに絶縁テープを巻き付ける。  
注) 絶縁テープはVVF外被と保護チューブの突き当て部に完全に隠すように巻き付けてください。  
巻き付けないと火災、感電のおそれがあります。
- ④電源線を端子台に確実に差込む。  
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。  
注) 送り配線の場合、送り配線用の電源線にも保護チューブを取り付ける。  
保護チューブを取り付けないと火災、感電の原因となります。



**警告**  
保護チューブを切断しない  
火災、感電のおそれがあります。  
禁止

**注意**  
電源ブッシングが穴から外れた場合ははめなおす  
必ず守る  
ブッシングがはずれた状態では、断熱材、虫、ほこりが侵入し、火災、感電の原因となることがあります。

(注意)  
電源線接続後、余りな電源線は本体のバネ受け付近の面に触れないよう電源穴へ押し込む。  
電源線の影が見えるおそれがあります。押し込む

器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を、解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

(次ページへつづく)

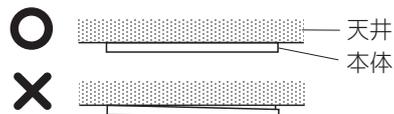
## 取り付け方

### 6 ほこり防止シールを貼り付ける

#### 確認

本体と天井の間に隙間がない事を確認してから、ほこり防止シールを貼り付ける。本体と天井の間に隙間がある場合は、4 ページ 4 にしたがひ、取付金具を確実に引き下げてください。

- 取付金具の穴を覆うように付属のほこり防止シールを貼り付ける。



#### 確認

シールで穴が確実にふさがっていること



### 注意

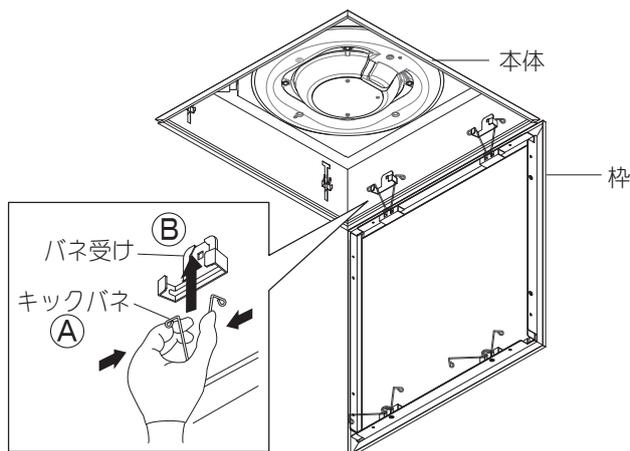


**ほこり防止シールを確実に貼り付ける**  
貼り付けが不完全な場合、断熱材、虫、ほこりが侵入し、火災、感電の原因となることがあります。

必ず守る

### 7 本体に枠を取り付ける

- ① キックバネ(A)(2箇所)を押し狭めながら、バネ受け(B)に引っ掛ける



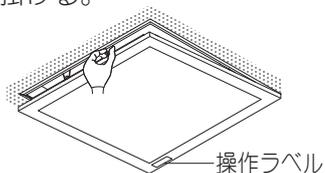
### 警告



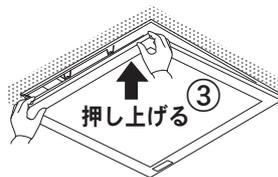
**枠を確実に取り付ける**  
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。

必ず守る

- ② 残り2箇所のキックバネを押し狭め、バネ受けに引っ掛ける。

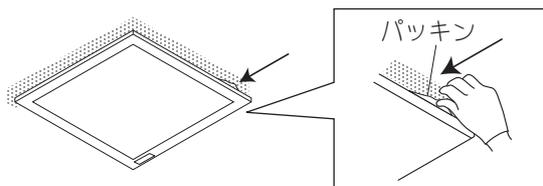


- ③ 枠を本体に押し上げる。

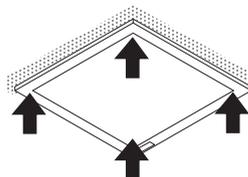


#### 確認

- ・ パッキンがはみ出していないことを確認する  
はみ出ている場合は、枠を引き下げパッキンを元の位置に戻してから再度、枠を押し付ける。



- ・ 枠を押し上げ、枠とパッキンの間に隙間がないように枠を本体に押し付ける。



# お手入れについて

電源を切って、光源やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は石けん水に浸した布をよく絞ってからふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 枠の外し方は操作ラベルを確認ください（3ページ各部のなまえ参照）

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

# ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

## 【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でお取り替えは出来ません。

## 【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

# 仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	39.4W	0.41 A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

- まず、お買い上げの販売店へご相談ください
- ▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って、出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

\*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名	住宅用照明器具
●品番	LGB3110LE1
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。  
※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

\*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

